

兵家連

(昭和63年9月)

創刊号

兵庫県精神障害者家族連合会

発行人 南野三郎

編集人 前川博

〒652神戸市兵庫区湊川町3-13-20

事務局 湊川病院内

☎ 078-521-1367

創刊のことば

会長 南野三郎

兵家連は昭和43年に誕生し、翌44年9月に結成大会が神戸でもたれたのであります。その時は、病院家族会のみの連合体であり、情報交換の場のようなものでした。

当時の状況を申しますと、先進地の府県では、家族会と病院との対立があつたり、革新的な医師の目に余る行動があつたりして、病院側も家族会を歓迎しない風潮でした。

そのような中で、宇都宮病院事件が起き、それを契機として精神衛生法の改正作業が始まり全家連も大きな役割を果たすことになりました。

兵庫県に於ても、従来の家族会を見直し、各地で共同作業所を中心として発足している地域家族会に呼び掛け、大同団結して共に活動することになりました。

お互い立場の異なる家族であっても、精神障害者を身内に持つものとしては力強く、頼りになる連合団体に成長してまいりました。

精神衛生法が、精神保健法となり、患者の人権を大きく認める改正がなされ、本年7月1日より施行されておりますが、5年後の見直しをしっかり見守っていきたいと思います。

共同作業所への助成金も、国・県・神戸市から出ることになり、前途に少し明かりが見えてきたようです。

多くの地域家族会の参加によって、今までの情報交換だけの場が、一步前進した活動の場に成長発展したことを喜びつつ、創刊のご挨拶と致します。

家族会の組織図

全国精神障害者家族会連合会 (全家連)

兵庫県精神障害者家族連合会 (兵家連)

病院家族会部会

地域家族会部会

単位家族会-----7

単位家族会-----13

会員数---1980

会員数---518

共同作業所-----1

共同作業所-----11



単位家族会の紹介 (順不同)

【神家連の紹介】

[名 称] 神戸市精神障害者家族連合会
 [略 称] 神 家 連
 [愛 称] 神戸、ともに歩む家族の会
 [事務局] 神戸市垂水区川原3丁目2-14
 垂西むつみ会内☎078-753-0684
 [代表者] 宇 野 良 三
 [会員数] 284名
 6ヶ所の共同作業所を運営

『家族会設立の経緯と活動状況』

神戸市では56年頃より、理解ある医師や保健所の協力によって、共同作業所の設立を目的に、各区に於て家族会が誕生しました。

58年には保健所相談員の提唱で、全市の精神障害者家族の集合体として、神戸、ともに歩む家族の会が発足しました。

59年秋に、兵家連の真の充実を目指して神戸市で開催された、近畿ブロック家族会指導者研修会を機に、組織の強化を目的として6つの地区家族会が大同結集しました。

61年に神家連を結成し、62年に兵家連に加盟し、現在にいたっております。

『活動方針』

地域社会の偏見、差別に対しての啓蒙活動。
共同作業所の育成と充実。

各種授産施設の設置等、福祉施策の推進を重点的に進めております。

62年11月に、『精神障害者の福祉施策の充実について』の陳情書を、市議会議長に提出し委員会で議案審議された結果、採択されるという成果がありました。

【家族会のよろこび】

姫路市 高岡病院家族会
 会長 宮崎 秀夫

新年の松飾りがとれ、2月の寒い頃に毎年演芸会が行われます。『歌、踊り』『小劇』といった内容はいずこも同じでありますが、たいへん嬉しいことには今年こそはといった

練習の心意気が、会場一杯に満ち溢れることであります。

とくにケースワーカーの方々の演技には、病院全体を希望の、るっぽにしてくれると言っても過言ではないと思います。

今年はどんな『劇』が演じられるだろうかスケジュールを見ると『二つ肩』となってるふたりの人が背と腹を合わせて座り、後者の手で前者がうどんをする、又なにか命令を受けた二人が一体となって、それに答える様な動作をするのである、これらを後者の目を閉じた時、どの様に表現されるか、考えてみるだけでも面白い動作を、次々と思い浮かべることができるでしょう。

もう一つは、10月に行われる運動会です毎年違った内容の競技が飛出してきます。

患者が運動場の中央で、それも一人だけで手品を演じます。この時はこれが患者の演技かと全員が喜び、不思議さに拍手喝采をしたことがありました。

100米リレーでは、仲々前に出ない足を引きずりながら責任感に燃えて、バトンを次の走者に渡す姿から、彼達が精一杯努力した成果が伺われます。これでよいのだ この様にして一日々と回復していく彼達の実情を一目で見ることができます。

【おめでとう 機関紙の創刊】

川西市 むぎのめ家族会
 会長 石井 司

精神衛生法が精神保健法に変わり、国民の精神保健への知識の向上と、精神障害者の人権擁護の推進、社会復帰の促進等、法改正により患者を中心に、国や自治体が差別なく、社会に参加でき、安心して生活して行ける、地域内援助システムを整備して、その人権を擁護しながら彼等の社会復帰の、手助けをしたいと思って居ります。

願わくば一日も早く、精神障害福祉法制定の必要性を、心の底から叫び、訴えて、いきたいと思います。



【家族会のあらまし】

神戸市 漢川病院家族会
副会長 山本 春義

みなとがわ家族会は、大正4年に創立された医療法人尚生会『漢川病院』の病院家族会です、40年4月に会が結成されました。

精神保健年表によれば、この年全国各地で精神障害者家族会が結成しており、そのとき結成に携わった人達の苦労、バイタリティーが今にしてほぼ想像できます。

当会は入院患者の家族で組織され、庶務的な運営業務は、現在病院職員の手を煩わしておりますが、いつまでも慣習に甘えずに会員で、すべて処理できる体制を、整える必要があると思っております。

家族会活動の主な行事は、院長ほか先生方を講師とする『講演会』で、その中の質疑応答または懇談会です、これには外来の家族の方にも参加して頂けるように努めています。

今回は家族会の由来と、活動のごく一部を紹介しましたが、その活動、計画等についての詳細報告は次の機会にいたします。

【私たちの歩み】

宝塚市 宝塚家族会
会長 柳田 正己

当会は宝塚保健所の指導の下で、適時家族の会合を持ち、お互いに家族の悩みを語り合い、時には講師を招いて有意義な話を聞き、患者の闘病生活、または家族の患者に対する指針としております。

会合を重ねる内に、家族が手を握り合い、何かをすることが必要であり大切であることに気付き、63年5月に宝塚家族会の発足に到りました。会員は10名程度のスタートでしたが、結成以来講演を聞くのにも熱が入り他地区の家族会の情報収集と、作業所の見学を実施するなどしておりますが、私達は会の充実に力をいれなければと痛感しています。

まだよちよち歩きの家族会ですが、ここまで育ててくれた保健所の皆様に、お礼を申し上げ、今後も一層の育成と、兵家連の皆様のご指導をお願い致します。

【概況と課題】

損保郡 損保川病院家族会
会長 久保すえ子

当病院は全国的に良く知られる、赤とんぼの作詞者『三木露風』の生誕地で、童謡の町龍野市の隣接地で損保川の清流の辺りに位置し、風光名びな静かな環境の地にあります。昭和38年開院、6年後の44年に家族会を結成、本年20周年を迎えた記念事業として記念誌を発刊しました。

又ファンシーハンド芸等の持ち寄り品、友情出品物を総会にて展示即売をして、会の運営資金に充当しました。

椎茸栽培も序々に増していますが、少し問題点もあります。

病院の敷地内に広大な農園があり、院生約320名がこの農園にて、作業療法を社会復帰に向けて、積極的に取り組んでおり、これには地域の共感を得る事が大切だと思います。

家族会行事として『親子一泊バス旅行』や『合同キャンプ』家族会の総会には保健所・福祉事務所の協力にて研修会を開いています。

心の病にかかり家庭崩壊寸前の方もあり、又問題点もあって病院生活を余儀なくされた方、入退院の繰り返しの方達、病歴こそ違えそれが人語に尽くせぬ、苦労の連続だったでしょう。私達は同じ病院で共に生活する者の家族の集いに損水会を結成しました。

私達は如何なる時も前向きに、積極的に人の話に耳を傾け自身の視野を広げる、障害者をもっているのは、自分一人じゃない、大勢の友がいる事を決して忘れずに、勇気をもって頑張らなければならないと思います。

さて今年は新精神保健法が施行され、福祉という言葉はありませんが、社会復帰促進の目玉が法にうたわれております。

これから施策の施行に目を向けるとともに、私達の究極の願いである福祉法制の実現で、精神障害者が住みよい社会になる為に努力するのが私達にかけられた、長い間の夢であり課題ではないでしょうか。

【ひらどの会について】

県立光風病院家族会

当会は昭和42年5月に発足し、当時任意で110家族の方が加入しました。

年会費『240円』総会は病院の運動会の日に開くという形ではじまりました。

兵家連にも当初から加入しておりました。

40年代は、病棟別懇談会、諸制度についての学習会等、活発に活動していましたが、50年代から60年代へと、役員の高令化と世代交代のはざまで、ここ数年というものは休会の状態です。

現在は運動会に売店を出すことと、兵家連の事業には参加をして居ります。

それと必要に応じて役員会を開いています。

他の家族会の紹介

【病院家族会部会】

[いずみ会] 有馬病院家族会 西宮市
(いずみ作業所運営)

[千種会] 赤穂仁泉病院家族会 赤穂市

国際セミナーを成功させよう

手をつなごう=世界の回復者と

精神障害者リハビリテーション国際セミナー

☆とき 9月27日(火) ☆ところ 神戸市ポートピヤ 国際会議場にて

心の相談室ご案内

☆ 診療相談 ☆ 生活相談

☆ 心理相談

どなたでも相談できます。

相談は無料です。

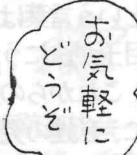
【秘密は厳守します】

連絡先

〒652神戸市兵庫区湊川町3丁目13-20

湊川病院内 兵家連事務局 多田まで

☎078-521-1367



編集子より

今回は創刊号で、兵家連傘下の各家族会の紹介に紙面を、費やしてしまいました。

次号からは心の通い合う内容で、しかもバラエティ豊かなものにしたいと思っています。

投稿のお願い

短歌、俳句、感想、意見等、どんな内容のものでも結構です。又匿名でもかまいません。

ご投稿、お待ちしております。

